

平成31年度  
高郷中学校  
学校便り

# 花丘学舎

平成31年4月12日  
No. 1  
文責 校長 木野秀樹

平成31年度、平成最後の年。元号が「令和」に変わるという、歴史的な新年度がスタートしました。季節外れの雪に驚きはあるものの、確実に春はすぐそこまで来ています。この「花丘学舎」も2年目になります。学校の様子がわかる、生徒や教職員の思いが伝わる学校便りを目指して、今年も頑張りたいと思います。

## 9名の新入生の皆さん。入学おめでとう！

去る4月8日（月）、本校体育館において入学式が挙行されました。天候にも恵まれ、さわやかな春の日差しの中で、9名の新入生を迎えることができました。大変うれしく思いました。一人一人の名前が呼名されると、全員が素晴らしい返事で応えてくれました。話を聞く態度も礼の仕方も、大変立派でした。長水さんの新入生代表の言葉も心のこもったいい文でした。それに呼応するかのよう、2、3年生の態度も先輩らしく落ち着いた、堂々とした態度で、さすがと感じさせるものでした。

緊張感の中にも、温かな心の通い合う、感動的な入学式でした。



## 本校職員を紹介申し上げます！

校長 木野 秀樹  
教頭 山寺 豊（校務運営全般）  
教諭 竹内 孝幸（数学・技術・教務主任  
・1年主任）  
教諭 江川 みさ（英語・1年担任）  
教諭 笹 康頼（保体・2年主任）  
教諭 井上 夏美（国語・2年担任）  
教諭 折笠 和弘（理科・3年主任）  
教諭 猪越 淑子（社会・3年担任）  
養護教諭 鶴見 真理（保健・食育）  
主査 坂井 礼尊（事務全般）  
栄養技師 山口 桃未（食育）  
時間講師 高橋 幸子（音楽）  
時間講師 岩下 千恵（美術）

冊類 渡部 正  
冊類 大友 治  
SC 加藤美穂子  
ALT シャーネル（英語指導助手）  
司書 小澤 志帆



一丸となって取り組んで  
参ります。どうぞよろし  
くお願いします。

## 新年度のスタートにあたり！

4/8（月）、春休みを終えた新2・3年生が、一回り成長した顔で登校し、体育館で第1学期始業式を行いました。この日の新鮮な思いは、今年1年を左右する、大変重要なものになると思います。高郷中生全員がいきいきと、笑顔で、有意義な日々を送ることを願い、以下の式辞を述べさせてもらいました。

例年にない降雪量の少なさに驚きつつも、厳しい冬を乗り越え、迎えた春の訪れは、いつもの年と同じように明るく、心躍る気持ちにさせてくれます。そんな今日の佳き日、第一学期始業式をこうして実施できること、大変うれしく思います。また、4月1日に新しい元号が発表になりました。元号が正式に変わるのは5月1日ですが、令和元年度はスタートしたことになり、その意味においても記念すべき新元号初年度の新学期の始まりは、人生においても貴重な瞬間と言えると思います。

さて、その記念すべき新学期のスタートにあたり、3つのことをお話しします。

まず1つ目は、「しっかりとした目標を持ってほしい。」と言うことです。昨年度も何度か同じ話をしました。富士山に登ろうとした人だけが富士山に登ることができるように、遠い先の夢を実現させるために、節目、節目に目標を持ち、それを一つ一つクリアしていくのです。目標のないところに夢の実現はあり得ません。今日はその目標を立てるのに最適な日と言えます。それぞれが進級した学年において、学年終わりの自分の姿を思い描き、それを目標として、毎日コツコツと努力して行ってほしいと思います。

2つ目は「時間を大切にすること」です。これは修了式の日にした、「少年老いやすく学なりがたし」の内容と同じです。あっという間に過ぎていく時間を大切にすることで、日々の充実感はもちろん人生の豊かさも違ってきます。昨年度の2学期から、授業の始まりと終わりを示すチャイムを導入しました。これは1時間1時間の授業のけじめをはっきりさせ、1分1秒もおろそかにせず、集中して学習に取り組む姿勢をもってほしかったからです。そしてその姿勢は、部活動はもちろんあらゆる場面でも有効にはたらく姿勢となっていくはずですよ。今年度もその体制で行っていきますので、時間の意識を高く持って、生活してください。

最後の3つめは昨年度の始業式で話した内容と同じです。「A B C Dの原則」を覚えているでしょうか。「A、あたりまえの事を、B、ばかにしないで、C、ちゃんとやる人こそ、D、できる人」です。ややもすると、あたりまえの事があたりまえすぎて見過ごされてしまう毎日。でも、そのことに気づかないといつの間にか、あたりまえにはできなくなってしまっているのです。本当にできる人、身につけている人は、決してそのことを見過ごすことなく、常にあたり前のように行っている人なのです。ですから、挨拶をするとか、履き物をそろえるとか、清掃を一生懸命やるなどのあたりまえの事があたりまえにできているかどうかをもう一度見直してみてください。そして、できていることはこれまで通りでいいので、できていなかったことをあたりまえのように続けるよう努力して行ってください。

高郷の名産荻野石は柔らかい肌触りと美しい青みがかかった色で、全国的にも有名なものだそうです。その荻野石で作られた石塀や公園の歩道、建物の敷石は今も見る人の心を和ませていると聞いています。今年一年の皆さんの学校生活が荻野石のように美しく輝く日々であることを願い、1学期始業式の式辞といたします。



## ※保護者の皆様へ

本年も無事に入學式を行い、新年度をスタートさせることができました。これもひとえに、保護者の皆様、地域の方々の支えがあってこそのもので、感謝申し上げます。

学校、保護者、地域の連携は子どもの教育に当たっては不可欠のものと考えています。より強固で、太い絆を築いて参りたいと思います。今年度も、誠心誠意努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

